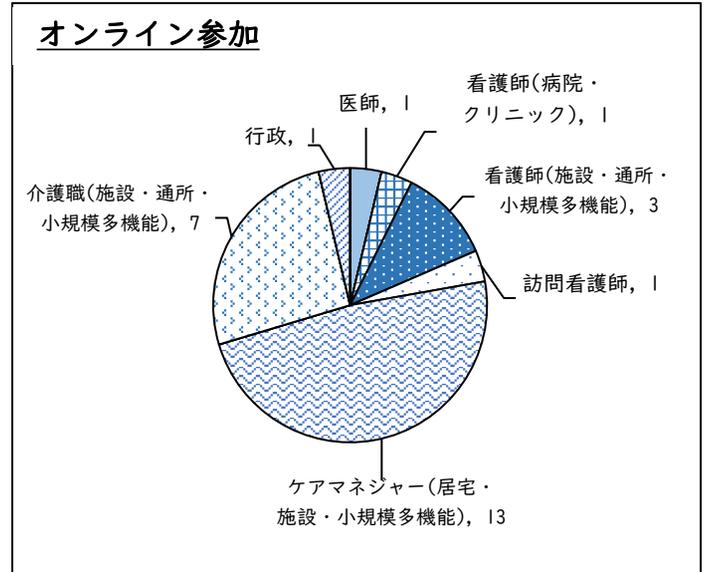
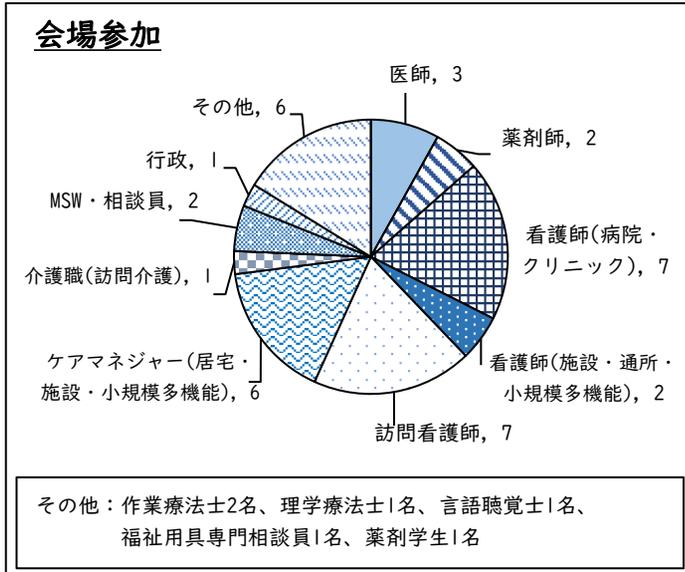


令和6年度 第1回いいせんネット研修会アンケート結果

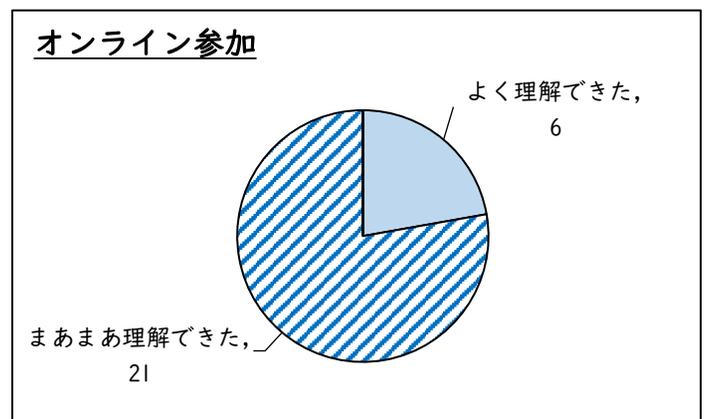
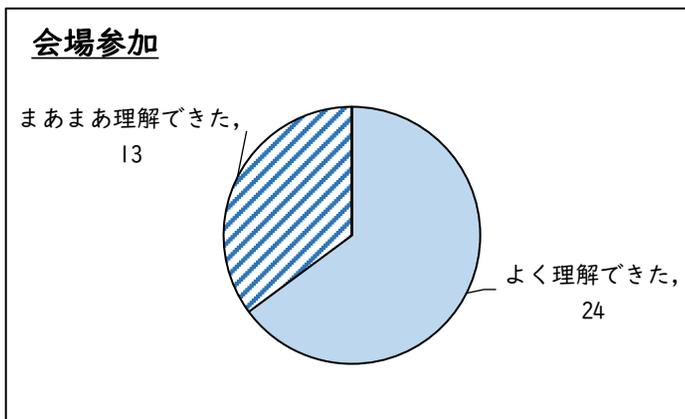
日時： 令和6年6月27日(木) 19時～

回答率： 会場参加 37/39名、オンライン参加 27/52名

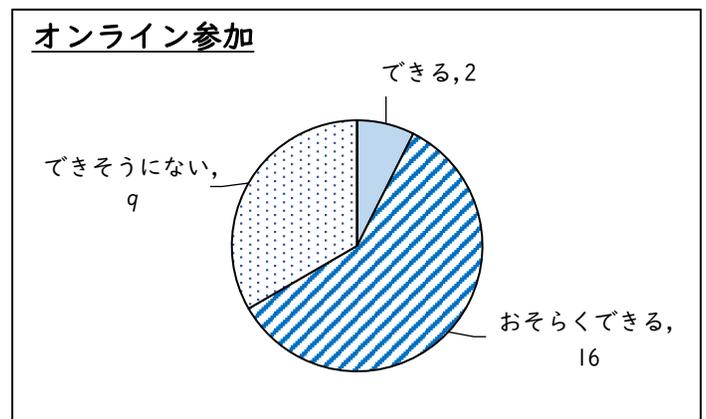
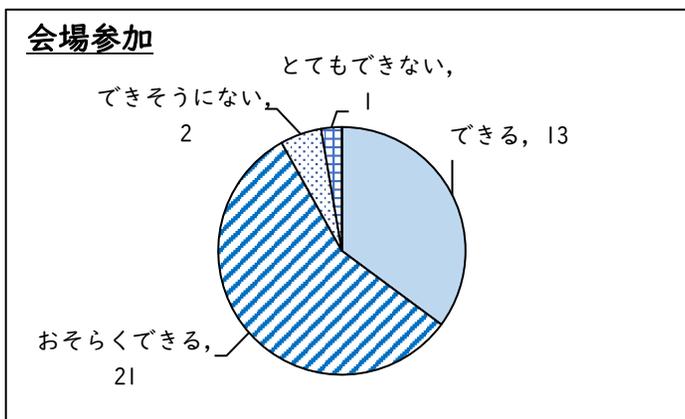
1. 職種について



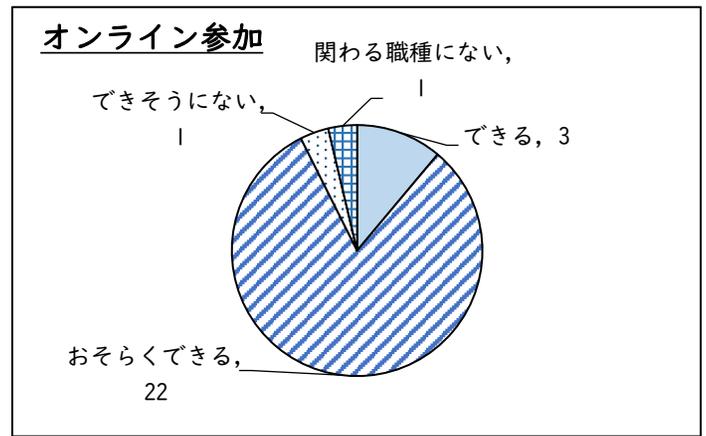
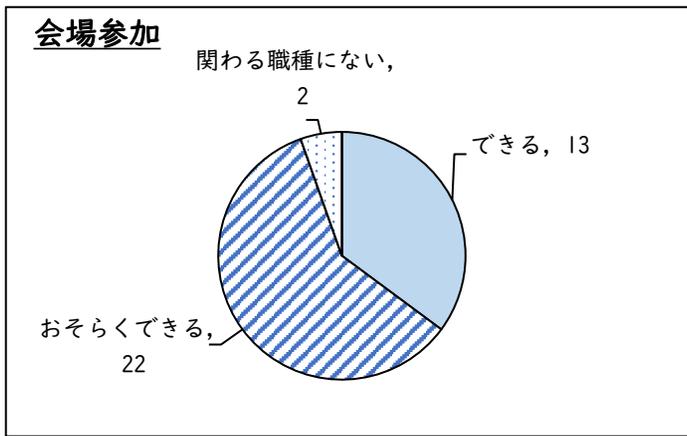
2. 講演の内容や実践的な看取りケアのプロセスについて、理解することができましたか。



3. グループワークでは実際の看取りケアのイメージをつかむことができましたか。



4. 看取りケア関連シートを今後の業務に生かすことができそうですか。



③、④と答えられた方はその理由を教えてください。

〈会場〉

・本人になりきる事は難しいですが、本人に寄り添う事はできると感じた。本人や家族と同じ目線になってコミュニケーションをとるよう意識していこうと思う。
・その方の思い(本当の思い)を引き出すのは、本当に難しい。
・まようことも多い場面で目安になると思いました。
・イメージの準備ができていなかった。
・みんなの方向性が統一するので必要。自分たちでもできるという成功体験も感じやすく、次のケアにつながりやすいと思う。

〈オンライン〉

・グループワークの内容がもっと具体的にほりさげた事例の方が分かりやすかったと思います。
・常にイメージをすればできるかもしれない。
・正直不安はありますが、その方が最期・終末期をご本人、ご家族が穏やかに迎えられるよう、支援をしたいという気持ちを強く思うからです。
・状態確認シートと看取りケアパスを使用することで利用者に対して看取りケアをできそうな気がします。
・演習でなりきる事、話の仕方、入り方が難しかった。自分のコミュニケーション力、スキルをあげて少しでも看取りケアについて学んでいきたい。
・未経験なため看取りケアを利用者として支援できずに感情移入してしまうかもしれないため。
・実際に該当する方は今のところいないが内容を知る事で生かせる事もあるのではないかと感じました。

5. 本日の研修内容について、ご意見等があればお聞かせください。

〈会場〉

・利用者に寄り添って日々のケアをされているんだと伝わってきました。動画をみただけでしたがご家族、皆さんの表情や雰囲気がよく感動しました。色々な心情の中、研修発表して下さいありがとうございます。
・グループワークをする事でAさんの理解を深められました。
・なかなか在宅での看取りに立ち会うことが少ないので、覚悟が必要だと感じました。
・多忙な中準備をして頂きありがとうございました。
・今後の仕事で看取りケアに役に立てるようにしたい。
・Dr.、病棟リハ、訪入の多職種からの看取りケアにおける着目点が勉強になった。
・参加できてよかったです。
・看取りケアの中で、本人と家族の意見が合わないことも多く、看取りまでの葛藤などもお聞きしてみたいと思いました。
・本日はすばらしい話を聞かせていただきありがとうございました。“死んでいく力を阻害しないで発揮できるようにする”本当にその通りだと思いました。学んだ事を今後に生かしていける様がんばっていきたいと思います。
・実際のグループワークがあったので、緊張しましたが、看取りの患者様の気持ちを考えるいい機会になりました。
・今後看取りケアで、自分で出来る役割をもっと増やしていければと思います。
・看取りの経験はないが、具体的なイメージをしやすかった。ケアパスも実際に使用してみたいと思った。
・やりたいことなどは聞きやすかったが、やりたくない嫌なことは聞きにくかった。

・看取りケアをするにも様々な準備や考え方があることを知れた。
・お疲れ様です。すばらしい研修会でした。
・カンファレンスやグループワークが出来て良かった。時間や内容も良かった。
・よい研修をありがとうございました。
・実際に看取る前ACPは必要と思いました。
・最期の最後にご家族の後悔が少しでも少なくなるように「心の準備が必要」＝事前からの本人意向をみんなで確認しあう話し合い(ACP)を行っていく必要性を再確認しました。
・演習を通して、ACPを行っていくためには信頼関係がないと深い部分まで聞きづらいと感じました。普段の雑談を大切にしてい、患者さんの思い、価値観を話していきたいと思いました。状態確認シートや看取りパスも活用させていただきたいと思いました。ありがとうございました。

〈オンライン〉

・良い研修でした。
・小山先生や古城先生のお話、参考になりました。
・とても難しいテーマではありますが、とても勉強になりました。
・なかなか体験できないエピソードを学べて良かったです。ありがとうございました。
・とても勉強になりました。実際、家族がこのような状態に近づきつつあるので家族としても心の準備をして、最期を迎えられるようにしたいと思いました。
・パスの内容について説明があればより「そういうことか」と理解できるかと思います。
・在宅での看取りはなかなか経験する事が無いので、グループホームでの実践を聞く事ができて、ひとつの指針となりました。
・看取り期のケアのタイミングをスケールで確認することが出来ると、客観的で根拠のある話が出来ると感じました。
・ハイブリッドより、集合研修の方が理解しやすかったのではないかと思います。
・古城先生にはいつも自分が忘れてしまった気持ちを気づかせてもらっています。看取りは自分を成長させてくれる一大イベント。魂磨き。そこに行き着くまではお互いに苦しい道のり。職場のみんなと看取りの体制を整えたいと思っています。
・島での看取りについては、サービスが満足に受けられないが本人は家で最期をむかえたいといわれる方が多い。子供たちは島外が多く、自分たちの近くの病院や施設に連れていくという様な時に、本人は子供たちの言うことを聞かなければならないといってフェリーに乗って行かれる方もいます。やりきれなくなったりしますが、本日の研修で死におかう意思表示を本人、家族で話をしていきたいと思っています。ありがとうございました。

6. 今後の研修会で聴いてみたい・学びたい内容があればお聞かせください。

〈会場〉

・認知症、虐待について	・在宅以外の看取りの仕方等について
・在宅医療について	・事例検討良かったです。成功談、失敗談などあれば

〈オンライン〉

・看取りのケアのすすめ方	・LIFEについて
・認知症の方を支援する地域づくり	・資源の乏しい地域で最後まで自宅で暮らせる様にする支援
・ICT活用による業務効率化について	・目的の合意形成のプロセス